

# 「さあ手を打ち鳴らし」

(詩篇47:1 ネヘミヤ8:10)

さあ手をうちならし 主のみまえに行こう

この日は聖なる日 この日は聖なる日  
主のみまえに行こう

天地を造られた 主のみまえで歌おう

この日は聖なる日 この日は聖なる日  
主のみまえで歌おう

## 8 マジエスティ

神の小羊イエスに 栄光といきおいと  
知恵と力と富と ほまれと賛美をささげよう

天の栄光のみ座の前に

みんな ひれふし あがめよう

全地のすべての民よ

十字架のみわざをたたえよう

新聖歌37番 「主よいのちの言葉を」

- 1 主よ いのちの ことばを  
与えたまえ わが身に  
われは求む ひたすら  
主より賜(たま)う 御糧(みかて)を
- 2 ガリラヤにて 御糧(みかて)を  
分けたまいし わが主よ  
今も活(い)ける ことばを  
与えたまえ 豊かに

アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき  
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し  
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは  
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く  
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌145番 「栄えに満ちたる」

- 1 栄えに満ちたる 神の都(みやこ)は  
千代経(ちよえ)し巖(いわお)の 礎(いしずえ)かたく  
救いの石垣 高く囲めば  
み民の安きを 誰(たれ)かは乱(みだ)さん
- 2 尽きせぬ愛より 命の泉 豊かに湧き出て  
汲(く)めど尽きねば み国の世つぎは 渴くときなく  
あふるる恵みに 絶えずうるおう
- 3 み恵み受けつつ 生くるみ民は はかなき楽しみ  
むなしき富に ほこれるよびとの嘲(あざ)みにあえど  
こよなき喜び 露(つゆ)も変わらじ アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン